

# 世田谷線・

世田谷文学館 一開館30周年コレクション展

## 100年間の ものがたり

運転席のうしろに立って、広い窓から  
先へ延びる線路を眺めていた。線路脇  
にはいつも、花が咲いている。季節ご  
とに、次々と違う花が咲く。

柴崎友香「わたしがいなかった街で」

「みんな来てごらん、新しい電車が走るよ」露台  
の方で山彦の呼ぶ声がする。この村へ玉川電車  
が延長して今日はその開通式の日だった。

竹久夢二「出帆」

100年分の文学作品でめぐる  
世田谷線のちいさな旅

2025 10.18 (土) ————— 2026 3.31 (火)

開館時間 10:00—18:00 展覧会入場、ミュージアムショップは17:30まで

休館日 毎週 月曜日 …ただし月曜が祝休日の場合は開館し、翌平日休館 年末年始 …12月29日—1月3日

入場料 一般 220円 高校・大学生 170円 65歳以上／小・中学生 110円

○団体料金、障害者割引あり。詳細はHPをご覧ください。○企画展開催期間中は企画展チケットの半券でご覧いただけます。

○11月21日(金)は65歳以上入場無料、11月29日(土)・30日(日)および2026年2月23日(月・祝)は入場無料

主催 世田谷区、公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館 | 後援 世田谷区教育委員会

協力 東急株式会社、東急電鉄株式会社、電車とバスの博物館、世田谷線開通100周年記念事業実行委員会

世田谷文学館

SETAGAYA LITERARY MUSEUM <https://www.setabun.or.jp>  
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 Tel. 03 (5374) 9111



# 世田谷線・

世田谷文学館 開催 30周年コレクション展

## 100年間の ものがたり

1925年、玉川電気鉄道（現・東急電鉄）の支線として開通した世田谷線。1969年に渋谷〜二子玉川間の本線が廃線となったことで、世田谷区内だけを走る独立した路線となりました。開通から100年、世田谷線は三軒茶屋〜下高井戸間の5.0kmを結ぶ2両編成の路面電車として、今日も世田谷のまちなかを走っています。

世田谷線の沿線にはこれまで多くの作家たちが暮らし、また多くの文学作品に沿線の風景が描かれてきました。

世田谷線が開通した1925年に、若き日の**林芙美子**、**壺井栄**、**平林たい子**が身を寄せ合うように長屋暮らしを始めた**三軒茶屋**。川上未映子『黄色い家』でも、三軒茶屋は女性たちの奇妙な共同生活の舞台として登場します。**柴崎友香**『わたしがいなかった街で』では、日本SFの父とされる**海野十三**が長く暮らした**若林**に住む「わたし」が、終戦前後の海野の日記に記された場所を65年の時を経て辿ります。

**野尻抱影**、**川上弘美**が冬のボロ市の情景を綴った、**上町・世田谷**。吉田篤弘が20年以上にわたり紡ぎ続ける「月舟町」シリーズのモデル、**山下・松原**。**中原中也**、**藤野千夜**、**三浦しんが**が活写した、**下高井戸**駅周辺。たった10駅しかない世田谷線ですが、それぞれのまちにそれぞれの物語が、幾重にも重なりながら息づいています。

本展では、世田谷線開通以降2025年までの100年のあいだ、この沿線で紡がれたたくさんの物語を、作家たちのエピソードも交えながら紹介します。

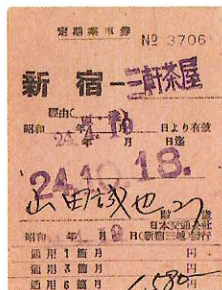
2025.10.18 (土) — 2026.3.31 (火)



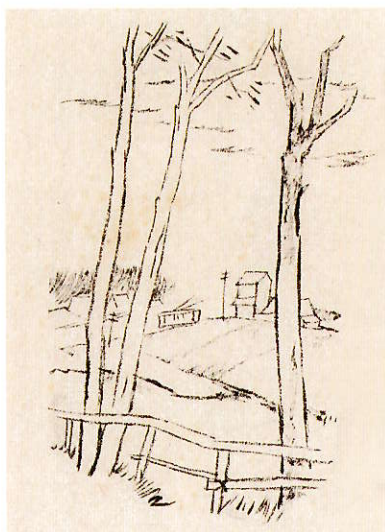
▲ 世田谷線運賃箱 \*個人蔵



▲ 下高井戸駅 1970年  
(写真提供: 東急株式会社)



▶ 山田風太郎  
三軒茶屋⇄新宿  
定期券  
医学生だった風太郎は戦後もなく疎開先から知人を頼って三軒茶屋に下宿する



▼ 植草基一年賀状 (1964年)  
松原駅の近くに住んでいた時のもの



▼ 北杜夫「楡家の人びと」創作ノート  
作中の楡脳病院（斎藤茂吉が院長を務めた青山脳病院がモデル）は松原で再興する



▼ 中野重治「第一章」原稿  
山下〜宮の坂には中野重治、徳永直、手塚英孝らプロレタリア作家が暮らした



▼ 世田谷線行先方向板 \*個人蔵



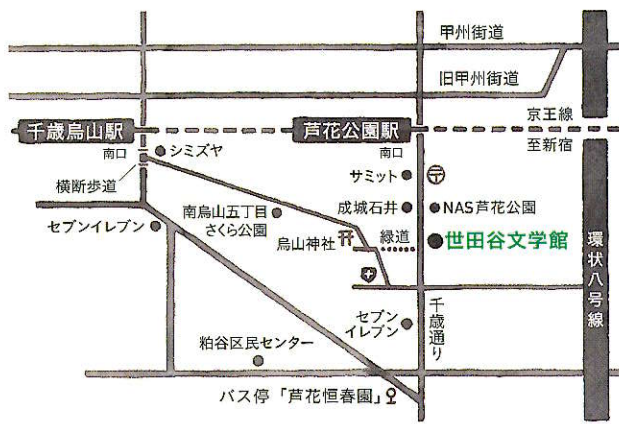
▼ 椎名麟三、下高井戸駅  
近くの線路脇にて

### 世田谷文学館

〒157-0062 東京都世田谷区  
南鳥山1-10-10  
Tel. 03(5374)9111

交通案内 京王線「芦花公園」駅南口より徒歩5分・「千歳鳥山」駅南口より徒歩15分 | 小田急線「千歳船橋」駅より京王バス（千歳鳥山駅行）利用「芦花恒春園」下車徒歩5分

ご来館にあたってのお願い ● 駐車場は台数が限られます。公共交通機関のご利用をお願いします。● ご来館前に当館ウェブサイトをご確認ください。



グラフィック・会場デザイン: といのきデザイン事務所 絵(表面): 佐々木光



同時開催 入場にはコレクション展チケットが必要です。  
ムットーニコレクション  
上演予定作品 ○ 開館時間中毎時30分から上演  
『月世界探検記』『蜘蛛の糸』『題のない歌』『山月記』  
ムットーニ  
『山月記』1995年  
原作者の中島敦は、  
世田谷にあった父の家で  
遺作となる『李陵』を執筆した

### 世田谷線 貸切 朗読会 『つむじ風食堂の夜』

(2025年11月8日、事前申込制、抽選)  
ほか、本展の関連イベントを予定しています。  
内容・詳細は当館ホームページをご覧ください。

### 同時開催企画展 ドナルド・キーン展 Seeds in the Heart

2025年11月15日(土)〜2026年3月8日(日)